

基幹教育センターニュース

No.11 2020年12月

コロナ禍におけるセンターの役割

基幹教育センター スタッフ一同



2020年度は、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言下という困難な環境の中で始まりました。新しい生活、新しい学びへの希望に胸を膨らませていた学生の皆さんには、どんなにか辛い状況だったことでしょう。それは学生たちとの新たな出会いを楽しみにしていた私たちにとっても、従来の活動の制限を余儀なくされる厳しいものでした。

後期に入り一部対面授業も再開されたとはいえ、第2波、第3波と襲ってくるコロナ感染症への警戒は、まだまだ予断を許さない状況が続いています。このような中で、基幹教育センターとして何ができるのかを模索しながら、私たちも活動を続けています。

まず何よりも優先したのが、学生の皆さんの質問を受け付ける体制作りでした。Moodleのフォーラムを利用させていただくことはもちろん、基幹教育センターのLINEを開設し、直接先生に質問できるような環境作りに努めました。そして、質問に対して適時に適任者が対応できるよう、基幹教育センターに関わる先生皆で、Slack上で困っている学生の情報を共有しました。

とはいえ、学生の皆さんにとっては、PCを介しての文章のやり取りでは自分のわからない内容を十分に伝えきれないということもあるかと思えます。そのような学生のために、ラーニングコモンズでは複数のアクリルボードを設置し、対面指導を再開しました。コロナウイルス感染症の拡大状況を見極めながらの対応になりますが、今後もできる限りこの体制を維持していきたいと考えています。

終わりの見えない感染症との闘いはまだまだ続きそうです。私たちは学生の皆さんに寄り添いながら、いつか必ず戻ってくる日常のために、これからも歩みを続けていきたいと思っています。

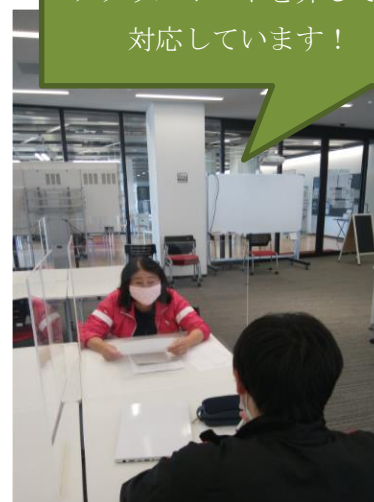
ラーニングコモンズでは対面指導を再開しています

センターでは、数学・物理に関する学生の皆さんの質問を受け付けています。授業の内容がわからない、学習の進め方につまずきを感じるなど困っている方は、まず一度、100号館2階にある基幹教育センター指導室に来て下さい。(ラーニングコモンズの奥にあります)

PCを介してのやり取りだと分かりづらいことでも、直接先生の指導を受けることで「こういうことだったのか」と分かることがあります。一人で悩まずに、遠慮なく訪問して下さい。

コロナ対策として指導は予約制としていますが、初めて訪問する際は連絡不要です。まずは「困っている」ということを伝えに来て下さい。

アクリルボードを介して、
対応しています！

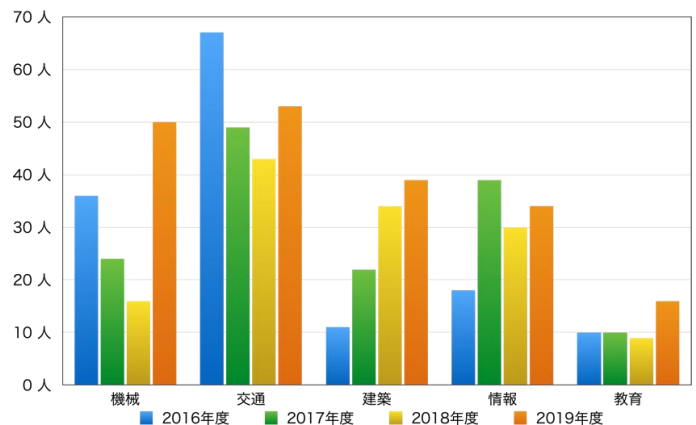


基幹教育センター 2019年度利用者数について

基幹教育センター 助教 酒見龍裕

基幹教育センター設立時から4年が過ぎ、センターの運営も形になってきた。しかし、2020年度は新型コロナウイルス感染症（COVID-19）により教育環境はもとより生活環境すべてが一変した。それに合わせて、上述のように基幹教育センターでも様々な対応策を行っている。ここでは昨年度の本センター純利用者数（リピーター含まず）を学科別に振り返り、今後の対策と運営について考えていきたい。

年間合計の純利用者数は、設立時から例年140名程度の学生がコンスタントに利用していた。しかし、2019年度は190名以上の利用となり多くの学生に利用された。リピーターを含む利用者数だけで見ると2018年度から微減となったが、この要因は入学前教育のフォローを対面からe-Learningに移行したことによると考えられる（詳細は2019年度基幹教育センター年報参照）。純利用者が増加した（幅広い学生に利用された）要因は、センター関係者が授業に入りセンターの利用を促したことが大きな一因であろう。学科別に見ると、2019年度はどの学科も満遍なく利用していることがわかる。その中で機械システム工学科は、毎年利用者数は少なく推移していたが、2019年度からは利用者数が大きく増えている。また建築設備工学科についても学生数の増加という側面もあるかと思うが、認知度の向上により利用者数が増加している。その反面、交通機械工学科や情報ネットワーク工学科は、利用者数が伸び悩んでいる（教育創造工学科については、学生数が少なく初年次教育を必要とする学生が少ないため、ここでは割愛する）。今後は各学科と今まで以上に緻密に協力し、学生への本センターの認知度向上に努め、学修支援の充実を図っていきたい。



基幹教育センター公式LINE開設しています！

数学・物理で困っている皆さん、基幹教育センターでは専用のLINEを開設し、皆さんの質問を受け付けています。

小さな質問でも大丈夫です。遠慮せず利用して下さい。
以下のURLを入力するか、右のQRコードを読み取って下さい。

<https://lin.ee/2wtT9AWRs>



リーディングスキルテストの実施について

本年度、基幹教育センターでは全1年生を対象として、リーディングスキルテスト（以下RST）を実施しています。

RSTとは、人が文章を読む際に必要な力を「文節に正しく区切る」

「構造を正しく認識する」「常識や知識から推論して、未知の用語の意味を位置付ける」などの11のプロセスに区切ってテストするものです。

学習は教科書を正しく読むことから始まります。このテストの結果を測ることで、学習のつまずき要因となっているスキルの不足部分が見えてきます。そこを練習し補っていくことで「読む力」は大きく飛躍し、ひいては学力の向上が期待できます。

